

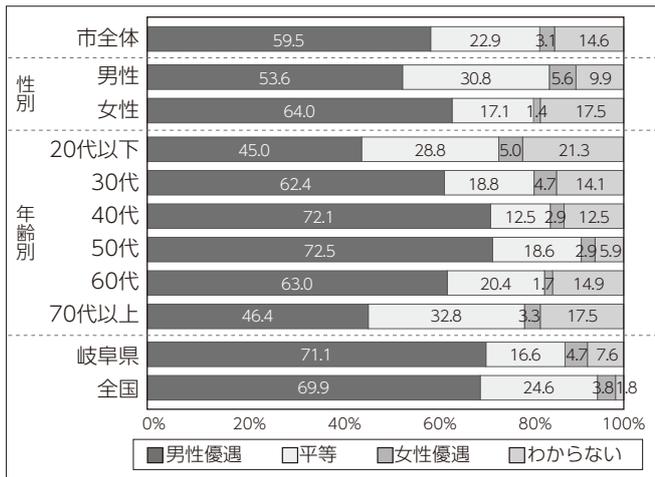
市民意識調査の結果①

本紙6月15日号に市民意識調査結果の概要を掲載しました。今年度の市民意識調査では男女共同参画プランの見直しに合わせて、男女共同参画について、いくつかの質問項目を設けていますので、その詳細についてお知らせします。

男女平等に関する意識を家庭生活や学校教育などの8つの分野別に伺ったところ、いずれも男性優遇の回答割合が女性優遇の割合を上回っており、

社会生活において男性が優遇されていると感じている方が多いという結果になりました。

8つの分野のうち「社会全体」を見てみると(下図参照)、男性優遇は59.5%で、女性優遇の3.1%と平等の22.9%を大きく上回っています。性別でみると、男性優遇と回答したのは、男性で53.6%、女性では64.0%で、10ポイント以上の差が見られます。年齢別では、学生時代か



ら男女共同参画の取り組みが進められていた20代以下と現役を退いた方の多い70代以上では男性優遇と回答した方の割合は50%以下と低くなっていますが、現役世代となる40代・50代では70%を超える結果になりました。同様の調査を内閣府および岐阜県でも実施しており、土岐市の結果と比較すると、男性優遇と回答された割合は国や県の方が高くなっています。(続く)

健康ほっとLine

—市立総合病院の医師が健康に関する情報をお届けします—

腎臓の病気も早期発見・早期治療が大切です

腎臓内科部長兼人工透析室部長兼中央機器管理室部長 村山慎一郎 医師

腎臓病は生活習慣病であるといわれており、高齢化社会に伴って患者数が増加しています。腎臓病には、腎臓だけが悪くなる病気と全身の病気(高血圧や糖尿病など)の影響が腎臓にまで及んで腎臓も悪くなる病気に分けられます。

腎臓だけが悪くなる病気は、精密検査を行うことにより腎機能の悪化を予防するための治療が可能になってきています。そのため、腎臓だけが悪くなる病気で血液透析になる患者数は減少しています。一方、高血圧や糖尿病などが原因で腎臓が悪くなると血液透析になる患者数は増えていきます。この場合は、腎臓が悪くなっている原因と考えられる血圧、血糖、コレステロール、中性脂肪、尿酸の値のコントロールや、肥満体質の改善、喫煙を中止することなどの生活改善が治療となります。

高血圧になっていても1日の塩分摂取量が10グラムを超えている方が多く、塩分制限が必要です。おいしいものには塩分が多く含まれていますが、私たちが現代人は塩分摂取量が多過ぎます。高血圧や糖尿病になっても症状がないため放置されている方もいます。▽夜中に何回もトイレに起きるようになった。▽足がむくむようになった。▽血尿が出た。このような症状があれば、腎臓の病気が進行している可能性があります。

毎年健康診断を受けて、尿検査や血液検査を行っていたが、異常があればかかりつけの病院で相談されるか、または当院の腎臓内科外来を受診していただきたいと思います。腎機能が悪化するにつれて心筋梗塞や脳梗塞になる危険も高まりますので1日も早く治療を始めてください。

広報には、市政情報「食生活改善講習会」や「栄養教室の参加者募集」、健康ガイド「みそ汁の塩分測定」など生活習慣病予防のため、食生活を見直すきっかけとなる講習会や調理実習のお知らせが掲載されていますので、ぜひ参加してください。